



昭和七年八月横橋第一四号として二種出版
昭和七年八月横橋第一四号として二種出版



神奈川県観光図繪

神奈川県

神奈川県観光図繪

文・藤本一美

text by Kazumi FUJIMOTO

「相鉄」の愛称で親しまれている相模鉄道の前身は、大正十五年五月に二俣川―厚木間を開業した後、星川（現・上星川）、北程ヶ谷（現・星川）、西横浜、平沼橋と延伸を重ね、昭和八年横浜駅に乗り入れ全通した神中鉄道である。この頃の様子は「神中鉄道沿線案内図」（金子常光作画・昭和四年）に詳しい。

一方、大正十年茅ヶ崎―寒川間を開業した相模鉄道は、昭和六年に橋本まで全通。戦時中の昭和十八年に神中鉄道を吸収合併するが、翌年、茅ヶ崎―橋本間（現・JR相模線）の路線が国有化となり、戦後は旧神中線を基に新しい相模鉄道としてスタートを切った。

本図の初三郎鳥瞰図は昭和八年刊行なので、合併前の両鉄道が赤ルートで図示されており、参考になろう。ほかに京浜電鉄線・湘南電鉄線とあるのは、今の京浜急行路線である。

大胆にデフォルメ（誇張）した構

藤本一美
首都大学東京・専修大学非常勤講師。地図情報センター理事。日本地図学会会員。鳥瞰図・展望図資料室兼山岳情報資料室主宰。
近・現代の鳥瞰図絵師の作品収集と研究に精力的に取り組んでいる。著書に「旅と風景と地図の科学Ⅱ」（私家版2006年）、
最新刊に「展望の山50選 関東編」（東京新聞出版局）がある。

